

第4学年 道徳科学習指導案

1. 主題 みんなのために働く (C-(13) 勤労、公共の精神)
2. 教材 「神戸のふっこうは、ぼくらの手で」
3. 主題設定の理由

小学4年生になると、委員会活動など、学校のための仕事を任されることも増え、誰かのために働くことが多くなっていく。働くことは、大変なこともあり、自分の自由な時間が削られることもある。しかし、自分の働きが誰かの助けになり、同時に誰かの働きに自分自身も助けられて、わたしたちの集団生活はよりよいものになっていく。そして、自分の働きが誰かの助けになったときに得られる充実感は、自分自身のやる気にもつながるものである。

本学級の児童は、給食の片づけなどを、自分の係でなくてもすすんで手伝うことができ、学級の仲間など、身近な存在のために動くことができる。また委員会企画のごみ拾いキャンペーンでは、ごみをたくさん拾って喜ぶ姿が見られ、活動に前向きに取り組むことができた。しかし、自分たちが主体となって何かを考え、動いてきた経験は少なく、「自分たちで変えていこう」という意識はまだ弱い。そこで今回の授業を通して、学校のため、地域のために自分たちで考え、動いていこうという心情を育んでいきたい。

本教材は、阪神・淡路大震災の際、避難所で自分も被災しているにもかかわらず、誰かのために働く人たちの姿から、みんなのために働くことの大切さに気づいていく話である。総合的な学習の時間「ぼく・わたしの自慢の竹島の海を未来へつなぐ！」で竹島の海のよさや課題に気づき始めた子どもたちに本教材と出会わせていく。困難な状況の中でも生き生きとした表情をしているのはなぜか問いかけ、みんなのために働き、自分たちで生活をよりよくすることで充実感を感じていることに気づかせていきたい。

4. 本時の学習活動

| 時間 | 学習活動と子どもの思い | 学びを支える手だて |
|---|---|--|
| | <p>ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ぼく」が自分にできることを見つけ、生き生きと働くまでに変容した姿を通して、みんなのために働くことの大切さに気づき、集団の一員としてできることを実行しようとする心情を育む。 | |
| 0 | <p style="text-align: center;">みんなのためにはたらくとは？</p> <ol style="list-style-type: none"> 写真資料から、震災について知る。 <ul style="list-style-type: none"> 震災後の町が20年ですごくきれいになった、すごいな。 避難所は大変そう、どうやって復興していったのかな。 | <p>手だて① - (ア)</p> <p>震災時の町や避難所の写真を提示することで、登場人物たちの震災時の生活をイメージしやすいようにする。</p> |
| 5 | <ol style="list-style-type: none"> 教師の範読を聞き、主人公「ぼく」の気持ちを考える。 <p style="text-align: center;">大山先生や手伝う大人を見て</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分たちも大変なのに、すごいな。 ぼくなら大便を手ですくうなんて、できないかも…。 | <p>手だて③ - (イ)</p> <p>登場人物の心情の変化を細かくつかむことができるように、3場面に分けて範読する。</p> |
| 10 | <p style="text-align: center;">「ぼく」はどうして熊の絵本を探しにいった？</p> <ul style="list-style-type: none"> 泣いている女の子がかわいそうだったから。 大人や小さい女の子までみんなのために頑張っているのに、自分は何もできていないと思ったから。 自分にできることを頑張ろうと思ったと思うな。 | <p>手だて③ - (イ)</p> <p>トイレをこのままにしておくとうなるか想像させた後、「大山先生はどんな気持ちで行動しているのか」と問いかけ、避難所みんなのことを考えて動いていることに気づけるようにする。</p> |
| 20 | <p style="text-align: center;">なぜ、避難所のみんなは「生き生き」としていた？</p> <ul style="list-style-type: none"> みんなが笑顔になってくれることがうれしいと思う。 誰かの役に立っているから。ただ見ているだけでなく、避難所の人のためにできることをやっているから。 みんなが助け合っているから、みんな前向きな気持ちになっていると思う。だから表情も生き生きしている。 | <p>手だて③ - (イ)</p> <p>小学生の動きも町の復興につながったことに気づけるように、「君たちがいるかぎり～立ち直る」という言葉を提示し、その意味を考える場をもつ。</p> |
| 35 | <ol style="list-style-type: none"> 本時の振り返りを書き、交流する。 <ul style="list-style-type: none"> 家族とかクラスのためにお手伝いはできていたけど、地域のためにと言われると、できていたか自信ないな。 小学生でも、自分たちの町の復興の力になってすごい。 私たちもごみ拾いとかで、竹島をきれいにしたいな。 | <p>手だて⑤ - (イ)</p> <p>自分自身の日常生活を振り返ることができるように、「家族、学校、地域のために何か動けたことはあるか」と投げかける。</p> |
| 評価 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> みんなのために働くよさを考える中で自分自身をふり振り返り、自分も人のため、地域のために何か動ける人になっていきたいという思いを高めることができたか。(発言、振り返り用紙より) | | |